

「家にお金をかけるのが不安」という方へ

「これ以上、家にお金を使えない。」

注文住宅は、材料の高騰もあり、全国平均 4039 万円。（2023 年国土交通省住宅市場動向調査より）過去最高となりました。

分譲住宅でも 4290 万円（土地代込み）。5 年間で 500 万円上昇したことになります。

そういう背景からか「これ以上、予算をあげたくない」最近こういう相談をよく受けるようになりました。

「予算が出せない。」ではなく「予算をあげたくない。」

この一言に、これから家を建てる方の将来への不安がにじみでています。

「子どもが巣立てば、夫婦 2 人になる。」

「ずっと、この場所に住み続けるかどうか分からない。」

「老後のために貯蓄を優先したい。」

一生に一度の家ですから、もちろん妥協はしたくない。

でも、お金をかけすぎるのがもったいない気がする。

それが、家を検討される方の本音です。

「できれば、平屋がいい」

空前の平屋ブームです。最近では 70 % の人が「平屋」を希望。

これも「予算をあげたくない。」という不安の裏返しなのでしょう。

しかし、実際に平屋を建築するのは、10 % 程度しかいません。

なぜなのでしょう？

「いつかは夫婦 2 人になるのだから、コンパクトな平屋で予算を抑えたい。」

こう希望を持ってハウスメーカーに訪れる。でも、そこで現実を突きつけられます。

「希望を取り入れた平屋は、2階建て以上にお金がかかりますよ。」

いつかは夫婦2人になると言っても、子どもが授かれれば部屋が必要。

収納はできるだけ多くしたい。etc

間取りの希望を言えば、平屋でもそこそこ大きな家になる。

結果、金額は2階建てと変わらない。さらに、それなりに大きな土地が必要。

土地の予算を抑えるのであれば、郊外の少し利便性が悪い場所を選ぶしかない・・・。

これが平屋を建てられていない正体です。

「もっとこうすれば良かった・・・。が一番の損。」

家に色々な希望を持ちながら、結局は予算を気にしすぎるが為に建てたあとに不安を漏らす方が多くいます。

賃貸住宅と違い、住み替えることは容易ではありません。だからこそ毎日後悔することになりかねない。それが家です。

「後悔しない為に、家に使える予算の上限を見極める。」

物価があがり今後の生活費が不安なのは当然です。教育費だけではなく、老後の資金への不安も数年前よりもずーっと心配です。

だからと言って、家という人生で一番長く過ごす環境を犠牲にする理由にはなりません。

だからこそ、家づくりにおいて資金計画が一番のキモになります。

それも毎月の返済額から計画するものでは、このインフレ時代には対応できません。

この先の人生にかかるお金をインフレも予測しながら計算し、そこから逆算して家につかえる金額の上限額を算出する。これが一番です。

もちろん不測の状態が起こるかもしれませんが。それをどの程度見越すのか。これは資金計画のアドバイザーとじっくり話合うべきです。

もしかすると、資金計画のアドバイザーを見つけることが一番後悔しない家づくりなのかもしれません。